

📷 思いやりの心を育てる

10月29日(出)、人権擁護委員が、朝霞第一小学校の4年生のクラスで、相手の気持ちを考え、思いやりの心を育てることを目的とした人権教室を実施しました。

当日は、学校公開日で、保護者や地域の方々が授業を見守る中、人権啓発ビデオ「プレゼント」を利用して行いました。ビデオ視聴後、子どもたちに、いじめの場面での、「いじめる人」「いじめられる人」「それを見ている人」の立場に立った意見をそれぞれ聞きました。「怒っている」「悲しい」「いじめているとは思っていない」など、どのクラスの子どもたちも、意見をたくさん発表し、人権について深く考えていました。



📷 文化の祭典



11月3日(木・祝)、「芸能のつどい」を皮切りに、朝霞市文化祭の各種催しが開催されました。

今年は50周年という節目の年を迎え、「文化芸術活動を次の世代を担う青少年に伝える」ことをテーマに、朝霞西高等学校書道部の「パフォーマンス書道」(写真左)や、彩夏ちゃん・コバトン・マナビィが登場しての「朝霞ゆるキャラまつり」(写真右)など特別企画も実施し、多くの方にご来場いただきました。また、手工芸、水墨画、茶道の体験教室や、各連盟の大会には子どもから大人まで幅広い世代の皆さんが参加しました。大人の方は、芸術を通じた新しい楽しみや出会いを、子どもたちは未来へ向かい新しい文化の可能性を見つけるきっかけになったようです。

📷 万が一に備える

11月5日(出)、三原公園において三原連合町内会自主防災会(代表:室谷外喜むろたにと きよおさん)と市の共催で、地域防災訓練を実施しました。この地域を管轄している朝霞市消防団第一分団(大橋孝之おおはしたかゆき分団長)、朝霞消防署浜崎分署の協力を得ながら、心肺蘇生訓練、初期消火訓練、仮設トイレの組み立てなど実践に役立つ訓練のほか、自主防災会が所有している救済資機材の確認などを行いました。



📷 西朝霞公民館にガス台が寄贈されました



大東ガス様から会社創業50周年の記念として、西朝霞公民館の実習室にガス台がご寄贈されました。紙上より厚くお礼申し上げます。

11月9日(休)に行われた点火式では、料理サークルの皆さんにもご参加いただき、新品・新型のガス台を前に歓声が沸き起こっていました。

団体による利用のほかにも、多くの市民の皆さんにお使いいただけるよう、西朝霞公民館は今後も、料理講座を企画していきます。

📷 ごみゼロの爽快感

11月12日(出)、荒川右岸河川敷の不法投棄物一斉撤去事業を行いました。

この事業は、朝霞市、志木市、和光市、埼玉県および国で組織する「朝霞市・志木市・和光市地区荒川クリーン協議会」で毎年実施しているものです。



当日は、ボランティア市民118人のご協力をいただき、上野荒川運動公園の河川敷から JR 武蔵野線高架下までの区間の不法投棄物、散乱ごみ等を回収しました。その結果、2tトラック1台分のごみを回収し、市民の憩いの場である荒川河川敷が、気持ちよくきれいになりました。

※広報あさか12月1日号26ページ、PHOTO NEWS「きれいなまちに」のごみ収集の量に誤りがありました。正しくは可燃約16t、不燃約11tでした。おわびして訂正します。

📷 鷹が舞う朝霞の歴史風景



11月12日(出)、東洋大学朝霞校舎グラウンドにおいて、博物館第26回企画展「鷹狩りと朝霞」の関連事業として「放鷹術実演一朝霞の空を鷹が舞う！」が行われました。当日は、伝統の放鷹術を現代に伝える NPO 法人日本放鷹協会の皆さんによる放鷹術実演や、市民による鷹匠体験などが行われました。体験で鷹を手にした子どもたちは、鷹の重さと迫りに驚いていたようでした。

江戸時代、朝霞市域は徳川将軍家と徳川御三家のひとつ尾張徳川家の鷹場となっていました。鷹が朝霞の空を飛ぶ風景は朝霞の歴史風景の一つと言えるでしょう。

📷 自然の恵みを満喫～農業祭～

11月20日(日)、中央公民館・コミュニティセンターで農業祭が開催されました。

朝霞で採れた新鮮なにんじん、ほうれん草、大根などたくさんの野菜が並ぶなか、農家の皆さんと話をしながら野菜を購入されている方や朝霞の野菜を使った豚汁をおいしそうに食べている方、つくたてのお餅を作る農家の方々など、会場には笑顔があふれていました。



📷 朝霞から世界を目指す



11月25日(金)、WBC インターナショナルタイトルチャンピオン 椎野大輝のひろきさんがタイトルを取った報告に富岡市長を訪問しました。

インターナショナルチャンピオンとは世界ランキング16位以下の選手で行うタイトル戦です。タイトル戦後、世界ランキング25位に、日本ランキングでも1位に上昇し、「国内タイトルを1年以内に取って、世界を目指していきたい」と抱負を語っていました。椎野さんは、わくわくどーむでボクシング教室などの講師をされていたり、ロードワークで黒目川の土手を走ったりしています。皆さん、ぜひ応援してください。